

第 280 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

期日 2014 年 10 月 28 日 (火) 13:00~

会場 東ソー株式会社 (<http://www.tosoh.co.jp/company/location/headoffice.html>)

〒105-8623 東京都港区芝 3-8-2 (芝公園ファーストビル) 電話 03-5427-5180

アクセス: 都営三田線 芝公園(A2 出口)徒歩 5 分, 都営大江戸線 赤羽橋(赤羽橋

出口)徒歩 5 分, 都営浅草線・三田線 三田駅 徒歩 10 分, JR 山手線・京浜東北線

田町駅 徒歩 15 分

開催趣旨

環境分析を巡っては、ダイオキシンや環境ホルモン、POPs(残留性有機汚染物質)、PFCs(パーフルオロ化合物類)、あるいは残留農薬など、様々な化合物の分析法が開発され、分析対象物質は増加の一途をたどっています。一方、試料前処理法、HPLC、LC/MS(MS)の技術の進歩により、低極性から高極性、低分子から高分子まで、幅広い物性の化合物の高感度化が進んでいます。

本例会では、環境分析における試料前処理や HPLC、LC/MS(MS)の装置の選び方や、分析時のコツ、新たな分析例など、ノウハウやアプリケーションをご講演いただきます。

講演主題 環境分析にまつわる試料前処理、HPLC、LC/MS(MS)の最近の動向

講演

講演趣旨解説 (オーガナイザー) (13:00~13:05)

(和光純薬工業株) 瀧内邦雄(LC 分析士二段)

1. 「農薬および農薬代謝物分析における固相抽出法の検討」(13:05~13:35)

(和光純薬工業株) 瀧内邦雄(LC 分析士二段)

2. 「オンライン SPE を利用した微量環境汚染物質の分析」(13:35~14:05)

(アジレントテクノロジー株) 熊谷 浩樹(LC 分析士三段、LC/MS 分析士初段)

3. 「環境中 PFCs の分析~前処理から LC/MS/MS まで」(14:05~14:35)

(日本ウォーターズ株) 〇佐々木 俊哉(LC 分析士初段)、津田 葉子(LC 分析士初段)

4. 「各種分離モードを適用した環境分析アプリケーションの紹介」(14:35~15:05)

(東ソー株) 伊藤 誠治(LC 分析士三段、LC/MS 分析士初段)

休憩 (15:05~15:25)

5. 「水質分析における HPLC の活用事例について」(15:25~15:55)

(株島津製作所) 三上 博久(LC 分析士五段、LC/MS 分析士初段)

6. 「環境分析における超臨界流体技術」(15:55~16:25)

(日本分光株) 岩谷 敬仁(LC 分析士初段)

7. 「建材技術・各種精製技術の進歩に伴う、環境負荷の低減」(16:25~16:55)

(グレースジャパン株) 渡邊 一夫(LC 分析士三段)

8. 総括「HPLC、LC/MS(MS)による環境分析:最近の動向」(16:55~17:25)

(東理大薬) 中村 洋(LC 分析士五段、LC/MS 分析士三段)

参加費 LC 研究懇談会会員:1,000 円, 協賛学会(日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会) 会員:3,000 円, その他:4,000 円, 学生 1,000 円(参加費は当日申し受けます)

- 情報交換会 講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します。(会費 4,000 円)
参加希望者は必ず事前にお申し込み下さい。
- 申込締切日 開催日の 5 日前 (土休日を含まず) までにお申し込み下さい。
- 申込方法 参加希望者は、氏名、勤務先 (電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他
の別及び情報交換会参加の有無を明記の上、FAX または E-mail により下記あ
てにお申込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しくだ
さい。(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)
- 申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田ハイツ 304 号
公益社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
(電話 : 03-3490-3351、FAX : 03-3490-3572、E-mail : kondankai-hp@jsac.or.jp)